

温室効果ガス排出量 検証報告書

2025年3月3日

西本 Wismettac ホールディングス株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 丸尾 智雅



1. 検証の対象及び目的

西本 Wismettac ホールディングス株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における2023年温室効果ガス（GHG）排出量算定結果（以下「算定結果」という。）に記載の2023年（2023年1月1日から2023年12月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象における天然ガス、ガソリン、軽油の使用に伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

3) スコープ3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ3, 5, 6, 7^{※2}において排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定結果を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定結果に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定結果に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定結果の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定結果に記載された GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ 1	12,677
スコープ 2 (マーケット基準) ^{※4}	6,218
スコープ 2 (ロケーション基準)	6,287
スコープ 3 ^{※5}	1,769
スコープ 3 内訳	
カテゴリ 3	61
カテゴリ 5	247
カテゴリ 6	1,327
カテゴリ 7	133

NOTE:

※1：算定対象：スコープ毎の算定対象を以下に示す。

○ スコープ 1, 2：

- ・西本 Wismettac ホールディングス株式会社：東京本社、神戸本店
- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス、大田オフィス、四国駐在員事務所
- ・Wismettac Asian Foods, Inc.：

アメリカ：Los Angeles Office (Corporate Headquarters), Arizona Office, Atlanta Office, Chicago Office, Dallas Office, Denver Office, Hawaii Office, Houston Office, Las Vegas Office, Miami Office, New York Office, Orlando Office, Sacramento Office (Satellite Office), San Diego Office, San Francisco Office, Seattle Office, Washington, DC Office

カナダ：Montreal Office, Toronto Office, Vancouver Office

○ スコープ 3 カテゴリ 3, 6, 7：

- ・西本 Wismettac ホールディングス株式会社：東京本社、神戸本店
- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス、大田オフィス、四国駐在員事務所

○ スコープ 3 カテゴリ 5：

- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス、大田オフィス、四国駐在員事務所

※2：スコープ 3 の各カテゴリの概要

○ カテゴリ 3 (スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)：国内の算定対象で使用した燃料、電力を対象

○ カテゴリ 5 (事業から出る廃棄物)：Wismettac フーズ株式会社の青果部門から出る産業廃棄物を対象

○ カテゴリ 6 (出張)：国内の算定対象の役員及び従業員の出張を対象

○ カテゴリ 7 (雇用者の通勤)：国内の算定対象の役員及び従業員の所属拠点への通勤を対象

※3：スコープ 1, 2, 3 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.4)」、及び、事業者が作成した「算定手順書」

※4：電力の排出係数：国内は電気事業者・メニュー別調整後排出係数(マーケット基準)、アメリカは EPA eGRID Subregion Data 2022 (ロケーション基準)、カナダは IEA Emissions Factors 2023 (ロケーション基準) を使用

※5：スコープ 3 の値(t-CO₂e)は各カテゴリの小数点以下も含めた合計値

以上